

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の充実と発展	個別事業掲載No	教 — 1
-----	--------------------------------	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 自律的な学園・学校経営の推進に向けた学校評価・学園評価の計画的な実施と、学校支援体制の一層の充実を図る。また、実施方針に基づく小・中一貫教育の充実により、学園として一体感のある教育を推進する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三鷹コミュニティ・スクール推進会議」を年3回開催。CSガイドを2学園で作成。コミュニティ・スクール委員会の活性化に向けた熟議等の実践報告</li> <li>・教育ボランティアの経験に応じた学校支援者養成講座の拡充</li> <li>・小・中一貫教育の教員の指導体制のヒアリング及び指導訪問を全校で実施</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(目標)	<p>・市立小学校卒業者の市立中学校への進学者数の割合の増加</p> <p>・学校支援ボランティアの参加数の増加</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>「三鷹コミュニティ・スクール推進会議」は2回開催し、各コミュニティ・スクール委員会の望ましい学習習慣、生活習慣の定着に向けた熟議等の取り組みを推進している。CSガイドは2学園で作成中である。学校支援者養成講座は、計画どおり教育ボランティアの経験に応じて昨年度以上の講座数を準備している。学校評価・学園評価の計画的な実施と、実施方針に基づく小・中一貫教育の充実等は、学校訪問等により指導・助言を行っている。</p>											
	事業評価審査会特記意見				政策会議評価・意見等			重点的に取り組む課題とする。CSガイドの作成については、残りの3学園全てでの作成を検討すること。					
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「三鷹コミュニティ・スクール推進会議」を年3回開催し、コミュニティ・スクール委員会の活性化に向けた熟議等の実践報告書を3月に作成した。CSガイドは新たに2学園で作成した。</li> <li>・教育ボランティアの経験に応じた学校支援者養成講座を3コースに拡充して実施した。</li> <li>・小・中一貫教育の教員の指導体制のヒアリング及び指導訪問を全校で実施した。</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(実績)	<p>・市立小学校卒業者の市立中学校への進学者数の割合 81.1% (平成25年度比3.9%増)</p> <p>・学校支援ボランティアの参加数 17,807人 (平成25年度比1,504人増)</p>											
	事業の総括(主管課)	<p>コミュニティ・スクール委員会の協力のもと、学校評価・学園評価を着実に実施し、その結果と改善策が次年度計画に反映されるようにする等、自律的な学園・学校運営を推進した。また、各コミュニティ・スクール委員会では、教育委員会での「三鷹『学び』のスタンダード」(家庭版)の策定を受けて、児童・生徒の望ましい学習習慣・生活習慣の定着に向け、自律的・発展的に各々の地域特性を踏まえた学園のスタンダードの作成に取り組んだ。また、その成果は、「三鷹コミュニティ・スクール推進会議」の報告書にまとめ、学園間で情報共有するための資料にとどまらず、27年度以降の各学園の活動の方向性を示すものとなった。さらに、CSガイドは新たに2学園で作成し、学校支援者の裾野を広げるための広報活動の充実を図った。教育ボランティアの経験に応じた講座は新たに3コースを開設し、コミュニティ・スクールを支える学校支援者の養成に努めた。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等				予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績					

主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他(取組方針の変更等)								
-------	---	-----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	健康・スポーツ及び生涯学習の拠点整備の推進（新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の整備に向けた取り組み）	個別事業掲載No	教 — 2
-----	--	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成28年度の完成をめざし、新川防災公園・多機能複合施設（仮称）の建設工事を徹底した安全管理のもと、計画的に推進する。また、市長部局と連携し、庁内検討や関係する審議会、団体等との調整を図りながら、効率的・効果的な施設管理と質を確保したサービスを提供するための管理運営計画を策定する。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事の推進</li> <li>・管理運営計画の検討</li> <li>・関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		<p>● 新川防災公園・多機能複合施設（仮称）建設工事</p> <p>● 管理運営計画の検討</p> <p>● 関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握</p> <p>● 管理運営計画（案）の作成</p> <p>● 管理運営計画の策定</p>											
	事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事の推進</li> <li>・管理運営計画の策定</li> </ul>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>建設工事は徹底した安全管理のもと計画的に行われており、6月には掘削工事を終え、その後本格的に基礎・躯体工事を進めている。また、市長部局と連携し、管理運営計画の策定に向けた検討を行い、新施設におけるスポーツセンター（仮称）と生涯学習センター（仮称）の体制のあり方について、報告書をまとめた。さらに、教育委員会をはじめ、スポーツ推進審議会や体育協会、社会教育委員会議などに事業の進捗状況等を報告した。下半期は、管理運営計画（案）を作成した後、庁内検討や関係する審議会、団体等との調整を図りながら、管理運営計画を策定する。</p>											
	事業評価審査会特記意見		政策会議評価・意見等	<p>重点的に取り組む課題とする。 管理運営計画の作成にあたっては、スポーツ振興課、生涯学習課も主体的に関わること。</p>									
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	<p>1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする</p>								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事の推進</li> <li>・管理運営計画の検討</li> <li>・関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		<p>● 新川防災公園・多機能複合施設（仮称）建設工事</p> <p>● 管理運営計画の検討</p> <p>● 関係する審議会、団体等への情報提供、意見・要望等の把握</p> <p>● 「管理運営計画（案）の概要」の作成</p>											
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事の推進（基礎・躯体工事の大幅な進捗）</li> <li>・「管理運営計画（案）の概要」の作成</li> </ul>											
	事業の総括（主管課）	<p>施設の建設工事は順調に進んでおり、スポーツ施設部分の基礎・躯体工事は概ね完了した。管理運営計画については、平成26年度の策定に向け、市長部局と連携し、庁内検討や関係する審議会、団体等との調整を図りながら、検討を進めてきたが、計画の内容が新施設における今後の事業展開等に係る部分が多いことから、市長選挙後に確定することとし、今年度は現時点までの検討を踏まえた「管理運営計画（案）の概要」を作成した。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等	健康・スポーツ及び生涯学習の拠点として期待される新たな市民サービスなど早期に具体化することが必要である。	予算執行		25年度実績	26年度当初	26年度実績						
				0千円	0千円	0千円							
				0千円		0千円							
				0.0%		0.0%							
主管課評価	3	事業評価審査会評価	3	<p>1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）</p>									

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	大沢二丁目古民家（仮称）の整備の推進	個別事業 掲載No	教 — 3
-----	--------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成19年3月に寄贈を受けた大沢二丁目古民家（仮称）について、大沢の里公園内の中核的な文化財の1つとして平成27年度の公開をめざし、復原工事を行う。整備後は、市民に向けた様々な体験学習や民具の展示を行うなど、地域文化財・地域観光の情報発信等の拠点として、三鷹型エコミュージアムのモデル事業を推進する。平成26年度は、大沢の里公園整備と整合を図りながら古民家復原工事（消防設備整備含む）や公開後の管理運営計画の検討等を行い、平成27年度の外構工事完了後、施設を公開する予定である。 なお、庁内プロジェクト・チーム（PT）を設置し、三鷹型エコミュージアム事業の全市的展開における方針・方策等を検討する。</p> <p>【事業量】 ・古民家復原工事 ・工事監理委託 ・外構工事設計委託 ・設計図書作成委託</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（目標）	平成27年度の公開に向けて、年度内の復原工事の完了をめざす。											

中間評価	上半期の実績・課題等	今年度予定していた古民家の復原工事が入札不調となったため、既存の整備方針を見直し、改めて古民家の保存と活用方法を検討し、新たな整備方針を策定する。											
	事業評価審査会特記意見	関係部署と連携して、公園部分を含めた大沢の里全体としての整備について進行管理を行う必要がある。				政策会議 評価・意見等		評価を踏まえ実施方針等を調整する。機能、管理運営及び文化財指定のあり方について調整のうえ、設計に取り組むこと。					
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大沢二丁目古民家（仮称）について、新たな整備方針の検討</li> <li>・三鷹型エコミュージアム事業推進検討プロジェクト・チーム検討会議開催（6回）</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大沢二丁目古民家（仮称）について、新たな整備方針の検討</li> <li>・「三鷹型エコミュージアム事業」について、プロジェクト・チームにおける大沢地区を中心とした検討</li> </ul>											
	事業の総括（主管課）	平成26年度は、大沢二丁目古民家（仮称）の復原工事を実施する予定だったが、入札不調を契機として、これまでの整備方針を見直すことになったため、関係部課と協議しながら、新たな整備方針の検討を行った。 「三鷹型エコミュージアム事業」については、全市的展開に向けた方針・方策を立てるため、庁内プロジェクト・チームを設置して検討を行い、「検討経過報告」をとりまとめた。											
	事業評価審査会評価・意見等	市民の利活用の観点や地域文化財の情報発信拠点となることなどを踏まえて、十分に検討することが必要である。				予算執行	25年度実績			26年度当初		26年度実績	

主管課評価	4	事業評価審査会評価	4	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）								
-------	---	-----------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	新たな図書館システムの開発	個別事業掲載No	教 — 4
-----	---------------	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成24年10月に三鷹市、三鷹市教育委員会、(株)まちづくり三鷹、NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構の4者で締結したオープンソースプログラミング言語Rubyを活用した地域活性化に関する「共同研究開発協定書」に基づき、新たな図書館システムを共同開発する。平成26年度は平成25年度に作成した要件定義書等に基づき、システムの詳細設計を行ったうえで、オープンソースプログラミング言語Rubyを使用したシステムの開発に取り組む。開発に当たっては、新たなICT環境に適応した機能の追加等を検討するなど、図書館の利用に対する市民満足度の更なる向上をめざす。また、あわせて平成27年9月に本格稼働するために必要なインフラ・ネットワーク、ハードウェア、ヘルプデスクの設計を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館システムの開発</li> <li>平成27年9月の本格稼働に必要なインフラ・ネットワーク、ハードウェア、ヘルプデスクの設計</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(目標)	<p>平成27年9月の新システムの本格稼働に向けて、年度内の開発完了をめざす。</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>業務、インフラ、WEB等の部会に分かれて調整・確認を行っており、図書館システム本体は分館からも職員を選出して各確認を実施中。ネットワークについては庁内LANと統合するよう調整を行っている。スケジュールについては全体として予定より少々遅れ気味であるが、年度後半にかけてはアプリケーションを作成しての検証作業を実施する予定である。また来年度稼働開始に向けて平成27年早々に個人情報保護委員会への諮問も行う。</p>												
	事業評価審査会特記意見	導入後の管理・運用について必要業務を精査するとともに、導入時の休館期間について短縮に向けた調整をすることが望ましい。				政策会議評価・意見等				重点的に取り組む課題とする。図書館システム更新の仕様及び経費については、別途調整すること。また、適切な進行管理に努めること。				
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウド型の新たな図書館システムを共同開発した。</li> <li>図書館サイト及びCMSの構築、機器・ネットワーク設計、ヘルプデスク設計、初期導入業務作業内容設計を行った。</li> <li>平成27年2月に個人情報保護委員会への諮問を行った。</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(実績)	<p>システム開発に当たり、1～2週に1度の進捗会議を実施し、仕様検討のため分館職員も含めた検討チームを結成してアプリケーション等の設計にあたった。システムやインフラ・ネットワーク等の設計業務が遅れたため、システム開発と並行して進め、年度内に開発を完了した。</p>											
	事業の総括(主管課)	<p>(株)まちづくり三鷹とオープンソース・プログラミング言語Rubyを使用した新たな図書館システムの共同開発を行った。ICT環境の進展に対応する新たな機能として、返却期限お知らせメールや順次予約機能、お気に入りバスケットなどを追加した。利用者側の入り口となる三鷹市立図書館ホームページについても、迅速で的確な検索や情報発信を可能にし、アクセシビリティ確保やスマートフォン対応を図るため、ホームページ作成システムの開発を行った。また、システム開発とともに、インフラ・ネットワーク、ハードウェア等の詳細設計を行い、平成27年9月の新システム稼働に向けた準備を行った。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等	平成27年9月の運用開始に向け、引き続き適切な進行管理に努めることが必要である。				予算執行		25年度実績	26年度当初	26年度実績			

主管課評価	2	事業評価審査会評価		2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他(取組方針の変更等)							
-------	---	-----------	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--



平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	学校体育館の耐震補強の実施	個別事業 掲載No	教 — 5
-----	---------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成23年度から24年度にかけて実施した耐震診断内容再調査の結果に基づき、耐震補強工事が必要となった学校体育館について計画的に耐震補強工事を行う。平成26年度はこのうち2校の耐震補強工事を実施するとともに、4校の耐震補強実施設計を行う。これにより、平成27年度中の耐震補強完了をめざす。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校体育館耐震補強工事（2校：第五小学校、南浦小学校）</li> <li>学校体育館耐震補強実施設計（4校：第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校）</li> </ul>																																																												
	スケジュール	<table border="1"> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> <tr> <td colspan="12">学校体育館耐震補強等工事（2校：第五小学校、南浦小学校）</td> </tr> <tr> <td colspan="12">← 工期（5月中旬～10月中旬） →</td> </tr> <tr> <td colspan="12">学校体育館耐震補強等工事实施設計等業務（4校：第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校）</td> </tr> <tr> <td colspan="12">← 履行期間（5月中旬～27年3月中旬） →</td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	学校体育館耐震補強等工事（2校：第五小学校、南浦小学校）												← 工期（5月中旬～10月中旬） →												学校体育館耐震補強等工事实施設計等業務（4校：第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校）												← 履行期間（5月中旬～27年3月中旬） →											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																		
学校体育館耐震補強等工事（2校：第五小学校、南浦小学校）																																																														
← 工期（5月中旬～10月中旬） →																																																														
学校体育館耐震補強等工事实施設計等業務（4校：第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校）																																																														
← 履行期間（5月中旬～27年3月中旬） →																																																														
事業の成果（目標）	学校体育館2校（第五小学校、南浦小学校）の耐震補強工事の実施と、4校（第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校）の耐震補強設計を実施する。																																																													

中間評価	上半期の実績・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校体育館耐震補強等工事（2校） 第五小学校（契約日：平成26年5月15日、完了予定日：平成26年10月17日） 南浦小学校（契約日：平成26年5月13日、完了予定日：平成26年10月17日）</li> <li>学校体育館耐震補強等工事实施設計等業務（4校） 第三小学校（契約日：平成26年5月15日、完了予定日：平成27年3月13日） 中原小学校（契約日：平成26年5月19日、完了予定日：平成27年3月13日） 北野小学校（契約日：平成26年5月9日、完了予定日：平成27年3月13日） 第六中学校（契約日：平成26年5月19日、完了予定日：平成27年3月13日）</li> </ul> <p>第五小学校体育館耐震補強等工事については、施工業者の現場確認の不徹底により一部の鉄骨材に施工上の不具合が確認されたことから、是正工事を行う必要が生じた。このため、当初予定していた期間内（9月末）の工事完了が困難となり、平成26年10月31日まで工事期間の延伸をすることとなった。このことから、体育館の代替施設確保など、授業や学校行事等への影響が最小限となるよう努めるとともに、都市整備部公共施設課を通じて施工業者の現場担当者増員や、現場の作業確認の徹底を図り、工事の状況確認及び進行管理等の強化を図りできるだけ早い工事完了をめざす。</p>		
	事業評価審査会特記意見	政策的に評価・意見等	重点的に取り組む課題とする。	
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1

事後評価	実績	学校体育館耐震補強等工事の実施（2校）：第五小学校、南浦小学校 学校体育館耐震補強等工事实施設計の実施（4校）：第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校																																																												
	スケジュール	<table border="1"> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> <tr> <td colspan="12">学校体育館耐震補強等工事（2校：第五小学校、南浦小学校）</td> </tr> <tr> <td colspan="12">← 工期（5月中旬～10月中旬、11月中旬【第五小学校のみ】） →</td> </tr> <tr> <td colspan="12">学校体育館耐震補強等工事实施設計等業務（4校：第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校）</td> </tr> <tr> <td colspan="12">← 履行期間（5月中旬～27年3月中旬） →</td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	学校体育館耐震補強等工事（2校：第五小学校、南浦小学校）												← 工期（5月中旬～10月中旬、11月中旬【第五小学校のみ】） →												学校体育館耐震補強等工事实施設計等業務（4校：第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校）												← 履行期間（5月中旬～27年3月中旬） →											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																		
	学校体育館耐震補強等工事（2校：第五小学校、南浦小学校）																																																													
	← 工期（5月中旬～10月中旬、11月中旬【第五小学校のみ】） →																																																													
学校体育館耐震補強等工事实施設計等業務（4校：第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校）																																																														
← 履行期間（5月中旬～27年3月中旬） →																																																														
事業の成果（実績）	学校施設の耐震補強については、平成26年度に第五小学校、南浦小学校の2校の耐震補強工事が完了したことにより、三鷹市立小・中学校施設の耐震化率は94.2%となった。今後は、平成26年度に実施設計を行った4校について、引き続き耐震補強工事に取り組む。これにより、平成27年度中に三鷹市立小・中学校施設の耐震化が完了する。																																																													
事業の総括（主管課）	<p>学校体育館耐震補強工事が必要な6校のうち、第五小学校、南浦小学校の2校の耐震補強工事及び、第三小学校、中原小学校、北野小学校、第六中学校の4校の耐震補強工事实施設計が完了した。平成27年度は、実施設計が完了した4校の耐震補強工事を実施し、国の指針である平成27年度耐震化率100%に向けた安全安心な学校づくりに取り組む。</p> <p>なお、第五小学校体育館耐震補強等工事については、施工業者の原因により是正工事を行う必要が生じ、契約工期を延伸することとなったが、施工業者の現場担当者増員や、現場の作業確認の徹底を図り、学校の協力も得ながら、教育活動への影響を最小限に留める中で、予定より一月程度遅れの平成26年10月26日から体育館の使用を開始することができた。</p>																																																													
事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <th rowspan="4">予算執行</th> <th>25年度実績</th> <th>26年度当初</th> <th>26年度実績</th> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>9,546千円</td> <td>136,121千円</td> <td>134,666千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>8,274千円</td> <td></td> <td>120,485千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td>86.7%</td> <td></td> <td>89.5%</td> </tr> </table>	予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績	予算額	9,546千円	136,121千円	134,666千円	決算額	8,274千円		120,485千円	執行率（%）	86.7%		89.5%																																													
予算執行	25年度実績		26年度当初	26年度実績																																																										
	予算額		9,546千円	136,121千円	134,666千円																																																									
	決算額		8,274千円		120,485千円																																																									
	執行率（%）	86.7%		89.5%																																																										
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）																																																										

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	中学校特別教室等の空調設備整備の推進	個別事業 掲載No	教 — 6
-----	--------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 児童・生徒の更なる良好な学習環境を整備するため、平成22年度から24年度にかけて実施した市立小・中学校への空調設備整備事業に続き、中学校の一部の空調設備が未整備の特別教室等への追加整備に向け、実施設計業務を行う。 なお、各校への空調設備の整備にあたっては、財政負担を考慮し、計画的に工事を実施するとともに、国等の補助・助成制度を活用し、財源確保に努める。</p> <p>【事業量】 ・空調設備設置工事实施設計等業務（6校：第三中学校を除く中学校）</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	空調設備設置工事实施設計等業務（6校：第三中学校を除く中学校） 履行期間 6月上旬～11月下旬												
事業の成果（目標）	学校空調整備の追加整備に係る実施設計（6校）を実施します。												

中間評価	上半期の実績・課題等	空調設備設置工事实施設計等業務（6校：第三中学校を除く中学校） 契約日：平成26年6月26日、完了予定日：平成26年11月28日 今年度実施の空調設備設置工事实施設計等業務により各校の空調設備設置必要箇所を再確認したところ、使用状況の変更があった室があり、当初の59室から61室へ変更があった。 また、実施設計では、各校、火器使用室の系統と、それ以外の室の系統の2系統にわけて設計・積算を行った。 なお、東京都が今年度より実施している公立学校施設冷房化支援特別事業では、補助対象となる教室がパソコン教室・音楽室・図書室・視聴覚室の4室のみとなっている。										
	事業評価審査会特記意見	政策会議評価・意見等		重点的に取り組む課題とする。								
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

事後評価	実績	第一中学校他5校の空調設備設置工事实施設計の実施（6校：第三中学校を除く中学校）											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第一中学校他5校空調設備設置工事实施設計等業務（6校：第三中学校を除く中学校） 履行期間平成26年6月27日～平成26年11月28日												
	事業の成果（実績）	整備が完了している第三中学校を除く、6校の市立中学校特別教室等への空調設備整備実施設計が完了した。各校、熱源を使用する教室と、それ以外の教室にわけて設計・積算を行った。											
	事業の総括（主管課）	中学校特別教室等の空調設備整備については、整備が完了している第三中学校を除き、6校の市立中学校の中で、一部未整備となっている61教室の特別教室等への空調設備整備実施設計が完了した。平成27年度は、このうち、熱源を使用する理科室、家庭科室の17教室を優先して整備を実施する。 残る各校特別教室への空調設備の整備にあたっては、財政負担を考慮し、計画的に工事を実施するとともに、国等の補助・助成制度を活用し財源確保に努め、都補助については補助対象となる特別教室の拡充を引き続き要望していく。											
事業評価審査会評価・意見等	予算執行		25年度実績		26年度当初		26年度実績						
			予算額		9,182千円		9,182千円						
			決算額				5,962千円						
			執行率（%）		0.0%		64.9%						
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）									

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	総合教育相談の充実	個別事業 掲載No	教 — 7
-----	-----------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要・事業量】 乳幼児・児童・生徒等の一人ひとりのニーズに応じた支援を推進するために、個別指導計画・個別の教育支援計画ガイドラインに基づく確かな実態把握と計画の作成を行い、活用を図る。 学校管理職、教員等への質の高い研修を実施し、アンケート調査により、「研修内容理解度」を検証する。 また、福祉・保健・医療等関係機関と連携した支援を進めるスクールソーシャルワーカーを新たに現行の教育相談員の中から1人配置して4人体制とし、その成果を検証するとともに、教育支援推進委員会において、授業改善の観点から、教育支援プラン2022の推進状況を検証する。</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		確かな実態把握と個別指導計画・個別の教育支援計画の作成											
		教育支援関係研修会参加者の研修内容理解度の検証											
事業の成果(目標)	<p>・市で作成したガイドラインに基づく確かな実態把握と個別指導計画・個別の教育支援計画の作成 ・教育支援関係研修会参加者に対するアンケート調査による、研修内容理解度の検証 ・スクールソーシャルワーカー4人配置の成果検証 ・教育支援推進委員会において、授業改善の観点から教育支援プラン2022の推進状況を検証</p>												

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>個別指導計画・個別の教育支援計画作成のガイドラインについて、新任・転任教員への周知を図った。確かな実態把握に基づく個別指導計画・個別の教育支援計画の作成のために、夏季教育支援関係研修会を実施し、397人が参加した。研修アンケートから56%の「とてもよく理解できた」、44%の「理解できた」との結果と、児童・生徒の特性に応じた接し方や、三鷹市内関係機関との連携について理解が深まり、気づきを得たという感想を得た。8月現在、スクールソーシャルワーカーと就学相談担当教育指導員等との連携のほか、福祉・保健・医療等関係機関とのケースに応じたさまざまな連携が行われている。</p>											
	事業評価審査会 特記意見	政策会議 評価・意見等	評価を踏まえて予算化に努める。 当該事業の推進にあたっては、幼稚園、保育園、子ども園との密接な連携を図ること。										
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<p>・市で作成したガイドラインに基づく実態把握と的確な個別指導計画・個別の教育支援計画の作成 ・夏季教育支援関係研修会の実施及び研修アンケートによる理解度の検証 ・スクールソーシャルワーカーの配置体制を4人に拡充 ・全小・中学校で実施した「三鷹市教育支援プラン2022推進状況調査」の結果を基に、教育支援推進委員会において、授業改善の観点から教育支援プラン2022の推進状況を検証</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		個別指導計画・個別の教育支援計画の作成											
		教育支援関係研修会参加者の研修内容理解度の検証											
事業の成果(実績)	<p>・市で作成したガイドラインに基づく実態把握と的確な個別指導計画・個別の教育支援計画の作成と活用が図られた。 ・夏季教育支援関係研修会に397人が参加し、研修アンケートから、56%の「とてもよく理解できた」、44%の「理解できた」の結果を得た。 ・スクールソーシャルワーカーを4人配置し、関係機関との連携件数が、25年度(161件)の1.3倍の206件に増加した。 ・教育支援推進委員会において、授業改善の観点から教育支援プラン2022の推進状況を検証した。</p>												
事業の総括(主管課)	<p>「個別指導計画・個別の教育支援計画作成のガイドライン」の簡易版の周知が図られたことにより、各学校において、共通の様式を用いた児童・生徒の実態把握と的確な個別指導計画・個別の教育支援計画の作成と活用が図られた。 夏季を中心とした教員等への教育支援関係の研修会を実施し、研修アンケートから、56%の「とてもよく理解できた」、44%の「理解できた」の結果を得ることができ、学校における教育支援の充実を図った。また、学校管理職が教員に対し、適切な指導が行えるよう、管理職研修の充実を図った。 教育相談員・スクールカウンセラーを活用したスクールソーシャルワークについては、現行体制の中で人財の活用を図り、配置体制を4人に拡充したことにより、ニーズに対し迅速に対応が行えるようになり、関係機関との連携件数が、25年度(161件)の1.3倍の206件に増加した。 教育支援推進状況調査を全小・中学校において実施し、その結果を基に、教育支援推進委員会において、授業改善の観点から教育支援プラン2022の推進状況の検証を行った。小・中学校の通常の学級においても、児童・生徒の実態把握を前向きに行い、集中して課題に取り組むことができるような教室内の環境づくりや指導方法の工夫等を行っていることがわかった。 来年度は、第4次基本計画の改定にあわせて、三鷹市教育支援プラン2022について、総合的な見地から問題点を検証するとともに、学校及び地域における教育支援の推進をめざす。</p>												
事業評価審査会 評価・意見等		予算執行		25年度実績	26年度当初	26年度実績							
				予算額	57,749千円	56,975千円	56,975千円						
				決算額	50,799千円		50,018千円						
				執行率(%)	88.0%		87.8%						
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他(取組方針の変更等)									

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	学校給食の充実と効率的な運営の推進	個別事業 掲載No	教 — 8
-----	-------------------	--------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 学校給食調理業務の委託化を推進し、学校給食の充実と効率的運営を図る。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度4月から新たに北野小学校及び第六中学校で給食調理業務の委託を開始</li> <li>平成27年度からの第一小学校における給食調理業務委託の開始及び既委託校（中原小学校）の委託業者見直しに向けた業者選定作業（新規委託校：第一小学校における保護者説明会（7月）、募集要項説明会及び現地説明会（9月））</li> <li>委託校に学校給食運営協議会（保護者、学校、委託業者、教育委員会職員で構成）を設置し、委託業務の履行状況を確認するとともに、給食の運営について協議（今年度新規委託開始校（7月・1月）・既委託校（1月））</li> </ul>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		<p>○保護者説明会（一小）</p> <p>○競争入札等 審査委員会</p> <p>○募集要項配布</p> <p>○募集要項・現地説明会</p> <p>○業者決定（契約）</p> <p>○競争入札等 審査委員会</p> <p>業者選定審査委員会（3回）</p>											
事業の成果（目標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食調理業務委託校の1校増加（計13校）（最終目標年次・平成34年度までに全22校で委託化達成）</li> <li>既委託校の業者見直し1校</li> </ul>												

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>4月に委託を開始した北野小学校及び第六中学校において学校給食運営協議会を設置し、7月に会議を開催した。なお、同協議会では良好な運営状況等を確認している。また、平成27年度からの新規委託校である第一小学校においては、給食調理業務委託に関する保護者説明会を7月に開催した。今後は、第一小学校と中原小学校の委託業者選定に向けたプロポーザルの実施や準備を行うとともに、平成28年度新規委託校の選定を行う。</p>										
	事業評価審査会特記意見	<p>政策的に取り組む課題とする。 災害時の受託事業者との連携・協力に関する内容を仕様書に盛り込むこと。</p>										
	政策会議評価・意見等											
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>北野小学校及び第六中学校において給食調理業務委託を開始</li> <li>平成27年度からの第一小学校給食調理業務委託の開始及び既委託校（中原小学校）委託業者見直しに向けた業者選定作業実施</li> <li>委託校全校で学校給食運営協議会を開催し、委託業務の履行状況の確認及び給食運営についての協議を実施した。</li> </ul>																									
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月														
		<p>○保護者説明会（一小）</p> <p>○競争入札等 審査委員会</p> <p>○募集要項配布</p> <p>○募集要項・現地説明会</p> <p>○業者決定（契約）</p> <p>○競争入札等 審査委員会</p> <p>業者選定審査委員会（3回）</p>																									
	事業の成果（実績）	<ul style="list-style-type: none"> <li>北野小学校及び第六中学校の給食調理業務を開始し、委託校は全12校になった。</li> <li>平成27年度からの第一小学校の給食調理業務委託の開始及び既委託校（中原小学校）の委託業者見直しに向けた業者選定作業を完了し、契約を締結した。</li> </ul>																									
	事業の総括（主管課）	<p>新たに北野小学校及び第六中学校で給食調理業務の民間委託を平成26年4月から実施した。また、平成27年度から委託を開始する第一小学校及び委託開始から5年目を迎える中原小学校の事業者の選定をプロポーザル方式により行い、決定した。</p> <p>平成26年度から委託を開始した北野小学校及び第六中学校に保護者、学校、委託業者、教育委員会職員で構成する「学校給食運営協議会」を設置し、7月に第一回の会議を開催した。北野小学校及び第六中学校を含む他の委託実施校の「学校給食運営協議会」についても1・2月に会議を開催し、良好な委託運営状況を確認し、安全でおいしい給食の充実と効率的な運営を図ることができた。</p> <p>平成27年度からの新規委託校である第一小学校においては、給食調理業務委託に関する保護者説明会を7月に開催した。</p>																									
事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">予算執行</td> <td>25年度実績</td> <td>26年度当初</td> <td>26年度実績</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>250,948千円</td> <td>307,421千円</td> <td>307,421千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>250,725千円</td> <td></td> <td>306,410千円</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td> <td>99.9%</td> <td></td> <td>99.7%</td> </tr> </table>											予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績	予算額	250,948千円	307,421千円	307,421千円	決算額	250,725千円		306,410千円	執行率（%）	99.9%		99.7%
予算執行	25年度実績	26年度当初	26年度実績																								
	予算額	250,948千円	307,421千円	307,421千円																							
	決算額	250,725千円		306,410千円																							
	執行率（%）	99.9%		99.7%																							
主管課評価	2	事業評価審査会評価	2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）																							



平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	学級数増への適切な対応と学校規模の適正化に向けた取り組み	個別事業掲載No	教 — 9
-----	------------------------------	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】                      庁内プロジェクト・チームによる児童数の将来推計シミュレーションにより、新たに普通教室の確保が必要となる可能性の高い学校について、今後の学級編制基準の見直しや市内の宅地開発の動向等に注視する中で、通学区の見直しや校舎の増築など総合的な視点から、庁内の「学校・学童保育所の規模の適正化検討チーム」において引き続き検討を進め、必要に応じ年次ごとの対応を行う。あわせて、児童・生徒数の将来推計の更新及び検証を継続するとともに、中長期的な課題を抽出し、学校規模の適正化に向けた取り組みを進める。</p> <p>【事業量】                      ・庁内プロジェクト・チームによる検討会議（3回）                      ・最新情報による将来推計の検証・検討の継続</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(目標)	<p>●第1回会議 ▲第2回会議 ▲第3回会議 最新情報による将来推計の検証・検討の継続</p> <p>教室数の不足する年度に向けた年次毎の対応策の検討 ●政策会議 中長期的課題への対応</p> <p>・庁内プロジェクト・チームによる検討の継続                      ・普通教室の確保が必要になると見込まれる学校に係る対応策の取りまとめ</p>											

中間評価	上半期の実績・課題等	<p>庁内プロジェクト・チームにおいて、これまでの地域特性を考慮した年少人口の将来予測シミュレーションに基づく学校規模の適正化に向けた取り組みについて、改めて確認を行った。今後は、引き続き、住宅開発動向等を注視する中で、年少人口の推計を行い、平成27年度以降に向けた計画的な取り組みを進める。</p> <p>特に、高山小学校については、今後児童数の大幅な増加が見込まれ、既存校舎では普通教室を確保できない状況が見込まれることから、校舎増築による対応の可能性等について検証を行った。</p>											
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等			<p>重点的に取り組む課題とする。                      高山小学校については、当該地域の今後の動向等を適切に見据えた対応とすること。</p>								
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする							

事後評価	実績	<p>・庁内プロジェクト・チーム会議 開催2回                      ・最新情報に基づく児童・生徒数及び学級数の将来推計の実施                      ・高山小学校学級数増加に伴う対応の方針と計画の策定</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	事業の成果(実績)	<p>・庁内プロジェクト・チームによる将来推計の更新及び検証                      ・高山小学校学級数増加に伴う対応の方針と計画の策定</p>											
	事業の総括(主管課)	<p>「学校・学童保育所の規模の適正化検討チーム」での検討内容等を踏まえ、平成29年度から教室不足が発生する可能性が高いことが明らかになった高山小学校については、教育委員会として学級数増加に伴う対応策の検討及び取りまとめを行い、不足教室分を校舎増築により対応することとする、対応の方針と計画を策定した。</p> <p>今後は、平成29年度の増築校舎の供用開始に向けて、年次ごとに必要な対応を図るとともに、住宅開発状況等を注視しながら将来推計の更新を継続し、適切な対応を図る。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等			予算執行	25年度実績		26年度当初		26年度実績				
			予算額	0千円		0千円		0千円					
			決算額	0千円				0千円					
			執行率(%)	0.0%				0.0%					
主管課評価	2	事業評価審査会評価		2	1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他(取組方針の変更等)								

平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹市立図書館50周年記念事業の実施	個別事業掲載No	教 — 10
-----	--------------------	----------	--------

当初計画	【事業概要】 三鷹市立三鷹図書館（本館）が開館50周年（昭和39年10月1日開館）を迎えることから、市民・団体との協働により平成25年に開館した南部図書館（愛称：みんなみ）など5つの分館との連携を図りながら記念事業を実施する。実施にあたっては実行委員会を設置し、市民に対する図書館のPR、市立図書館全体の図書館サポーターの育成及び中学生・高校生の参加の場として「図書部！」発足のほか、NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構と連携して、読書のきっかけづくりや図書館の未来像を市民と語り合う場となるようなイベントを開催する。 【事業量】 ・50周年記念市民交流イベント：ブックカフェ、一箱古本市、市民団体等プログラム（10月31日、11月1日三鷹図書館） ・図書館サポーター養成講習会（本の修理、図書館研修）、実習 ・中学生・高校生「図書部！」部活・ネットワーク大学共催講座（全5回程度） ・分館イベント（50周年パネル展ほか） ・50周年記念誌発行
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ネットワーク大学共催連続講座（全5回程度） ① ② ③ ④ ⑤ 図書館サポーターの養成 ロゴマーク募集 巡回展示 50周年記念市民交流イベント ロゴマーク決定・表彰 図書部！発足 図書部！活動 50周年記念誌発行
	事業の成果（目標） ・50周年記念市民交流イベントの開催 ・中学生・高校生「図書部！」参加者15人 ・分館イベントの開催（50周年パネル展ほか） ・図書館サポーター新規登録者数50人 ・ネットワーク大学共催連続講座受講者延150人 ・50周年記念誌の発行

中間評価	上半期の実績・課題等 文部科学省より支援プログラムを受託。図書館サポーター：企画、書架整理、本の修理の3チームで33人が登録し活動中。中学生・高校生「図書部！」19人活動中。ネットワーク大学共催連続講座：2回終了、延133人参加。ロゴマーク作成：シンボルマークのみ公募し武蔵野美術大学との協働により文字部分を加えたロゴマークとする手法に変更。記念イベント：「図書館フェスタ」準備中。
	事業評価審査会特記意見 政策会議 評価・意見等
	主管課評価 3 事業評価審査会評価 3 1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする

事後評価	実績 ・ネットワーク大学共催連続講座 5回開催 ・図書館サポーター活動：書架整理第2、第3水曜日、本の修理第1、第3金曜日、シニア読み聞かせ人財養成 ・「図書館フェスタ」2日間開催 ・中学生・高校生「図書部！」定例会10回、ビブリオバトル企画・運営 ・分館イベント（おとなが楽しむおはなし会）5回開催 ・ロゴマーク作成完了（27年4月公表予定）
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ネットワーク大学共催連続講座（全5回） ① ② ③ ④ ⑤ 図書館サポーターの養成 シンボルマーク募集 50周年記念市民交流イベント シンボルマーク決定・表彰 図書部！発足 図書部！活動 ロゴマーク作成、ブランディング シニア読み聞かせ人財養成
	事業の成果（実績） ・「図書館フェスタ」イベント参加者約4,500人 ・シニア読み聞かせ人財養成参加者39人 ・ネットワーク大学共催連続講座受講者延209人及び最終回「図書館未来会議」参加者17人 ・分館イベントの開催（おとなが楽しむおはなし会） ・図書館サポーター登録者数57人 ・中学生・高校生「図書部！」参加者19人
	事業の総括（主管課） 図書館サポーター（企画、書架整理、本の修理、シニア読み聞かせの4チームで57人が登録）の養成や中学生・高校生の「図書部！」（参加者19人）の活動を進め、これらの新たな人財と既存の市民団体（三鷹市文庫連絡会や音訳ボランティア等）が企画、準備、運営を行い開催した50周年記念イベント「図書館フェスタ」（参加者数2日間で約4,500人）は、協働と交流の拠点としての図書館を市民にアピールする成果をあげた。また、ネットワーク大学共催の連続講座を5回（延べ226人参加）開催し、最終回のワークショップ「図書館未来会議」は50周年記念クロージングイベントとして実施した。文部科学省への提案により獲得した受託費により手厚い人財養成プログラムを実施することが可能になり、多世代の図書館活動の担い手を育成し継続的な活動に導くことができた。 分館イベントとしては、「おとなが楽しむおはなし会」「おおさわ学園の読書活動の紹介展示」「国会図書館を見に行こう」ツアー、南部図書館の開館1周年記念みんなみフェスタなどを実施した。 さらに、ロゴマーク作成を、シンボルマーク公募と武蔵野美術大学との共同研究プロジェクト（ロゴタイプ作成及び図書館ブランディング提案）として実施し、遺族の了解を得て今も圧倒的な人気のある作家・太宰治の書体を用いたことから、効果的なアピールができる話題性のある公式ロゴを制定することができた。
	事業評価審査会評価・意見等 予算執行 25年度実績 26年度当初 26年度実績 予算額 0千円 426千円 1,326千円 決算額 0千円 1,101千円 執行率(%) 0.0% 83.0%
主管課評価 1 事業評価審査会評価 1 1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）	

# 平成26年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

<b>事業名</b>	川上郷自然の村の効率的な運営の推進と今後のあり方の検討	<b>個別事業掲載No</b>	教 — 11
------------	-----------------------------	-----------------	--------

<b>当初計画</b>	<b>事業概要・事業量</b>	<p><b>【事業概要】</b> 平成25年2月にまとめられた「市保有宿泊施設・校外学習施設のあり方検討チーム報告書」の内容を踏まえ、平成26年度以降の指定管理期間を5年から3年に短縮する中で、厨房業務の見直しなど経営改善を踏まえた計画を立てるとともに、各種ツアーの実施など、魅力ある自主事業の実施等による利用者拡大に努めた。また、自然教室実施プログラムの分析などを通し、代替施設での実施可能性などを検証した。平成26年度は、施設の管理運営形態を含め、校外学習施設のあり方について引き続き検討を行う。</p> <p><b>【事業量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厨房事業見直しの成果の分析、経営改善・効率的な運営の方策の検討及び施設の資産価値の分析</li> <li>・施設の管理形態の検討、川上村・（一財）川上村振興公社との意見交換・協議</li> <li>・自然教室実施プログラムの検証及び代替施設の実地踏査の実施</li> </ul>											
	<b>スケジュール</b>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	経営改善・管理形態検討	経営改善等の方策の検討・資産価値の分析・公社等との協議											
	自然教室あり方検討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>事業の成果（目標）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般利用者数：12,000人</li> <li>・施設・自然教室のあり方検討結果報告書作成</li> </ul>												

<b>中間評価</b>	<b>上半期の実績・課題等</b>	<p>経営改善の方策として行った厨房業務の見直しについては、4月の食事提供分より実施しているが、利用者からは好評価を得ており、順調に運営できている。また、川上村振興公社と今後の利用者拡大の方策や可能性について意見交換を行ったほか、各種ツアーの実施（5件実施で計72名参加）など、川上村振興公社と連携してPR活動を行った。自然教室のあり方については、検討委員会を開催し、代替施設での自然教室の実施可能性について検討を行い、候補施設（中学校自然教室）の実地踏査を行った。</p>											
	<b>事業評価審査会特記意見</b>												
	<b>政策会議評価・意見等</b>	<p>評価を踏まえて予算化に努める。今後の施設のあり方については、平成27年度に方向性を明確にすること。</p>											
<b>主管課評価</b>	1	<b>事業評価審査会評価</b> 1											
1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする													

<b>事後評価</b>	<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主事業実績</li> <li>◆ツアー 11件実施（延 243人参加） ◆川上産レタス配布によるPR活動（市立保育所に計1,670個）</li> <li>◆スキープラン（440セット販売）</li> <li>・教育委員会内の関係課によるプロジェクト・チーム会議 5回開催</li> </ul>											
	<b>スケジュール</b>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	経営改善・管理形態検討	経営改善等の方策の検討・資産価値の分析・公社等との協議											
	自然教室あり方検討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>事業の成果（実績）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般宿泊利用者数10,822人</li> <li>・教育委員会内の関係課によるプロジェクト・チームを設置、効率的な施設運営の検証や自然教室のあり方、施設の管理運営形態などを検討</li> </ul>												
<b>事業の総括（主管課）</b>	<p>効率的な施設運営に向けて厨房事業の見直しを行い、メニューの構成・内容に工夫を凝らすことで、利用者満足度の向上を図りつつ、経費削減を達成することができた。一般利用者拡大に向けては、指定管理者である川上村振興公社と連携して、年間を通じた各種ツアーの実施（11回実施で計243人が参加）や大学への積極的なPR活動などを行った結果、年間目標（12,000人）には届かなかったが、過去最高を記録した平成21年度（11,252人）に次ぐ一般利用者10,822人となった。</p> <p>また、平成26年度には、教育委員会内の関係課によるプロジェクト・チームを設置し、効率的な施設運営の検証や自然教室のあり方、施設の管理運営形態などの検討を行った。今後、取りまとめた検討内容をもとに市長部局と調整を図りながら総合的な視点から施設の方向性に係る方針を確定する。</p>												
<b>事業評価審査会評価・意見等</b>													
<b>予算執行</b>		25年度実績		26年度当初		26年度実績							
予算額		68,676千円		65,856千円		65,856千円							
決算額		68,527千円		65,856千円		65,618千円							
執行率（%）		99.8%		99.8%		99.6%							
<b>主管課評価</b>	2	<b>事業評価審査会評価</b> 2											
1 計画以上 2 計画どおり 3 計画の7割未満 4 その他（取組方針の変更等）													